



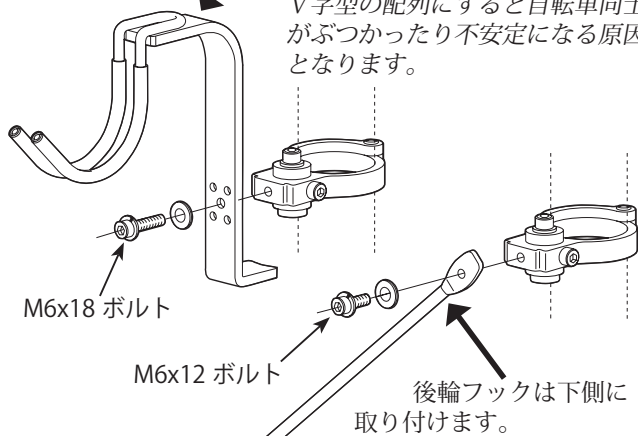
自転車を前輪から吊り下げて収納するためのフック 2 枚 (1 台分) のセットです。P-500 を P-600 に、BikeTower を BikePit に改造する際などに使用します。また P-700 のオプション・アタッチメントとしてもお使いいただけます。



自転車は前輪から吊り下げるようにしてください。後輪から吊り下げるとハンドルバーに低い位置に来て引っかかりやすくなるのでお勧めしません。

上側に取り付けられる前輪フックは、左右の自転車のハンドルバー同士が干渉しない程度に、取り付け位置 (高さ) をずらしてセットする必要があります。

前輪フックは必ず支柱の左右それぞれ真横に取り付けてください。V 字型の配列にすると自転車同士がぶつかったり不安定になる原因となります。



装着部品の重量バランスのせいで、自転車はそのまま吊り下げるだけでは決して直立してはくれません。収納スペースを小さくするためには、できるだけ自転車を垂直に吊り下げるべきで、それには後輪の位置が重要です。後輪タイヤにフックに掛けて引き寄せた際に自転車が直立する位置と角度に、後輪フックを設置します。リムやスポークにフックを掛けるのは誤りです。フックはじわっと動くようにして、完全固定はしません。

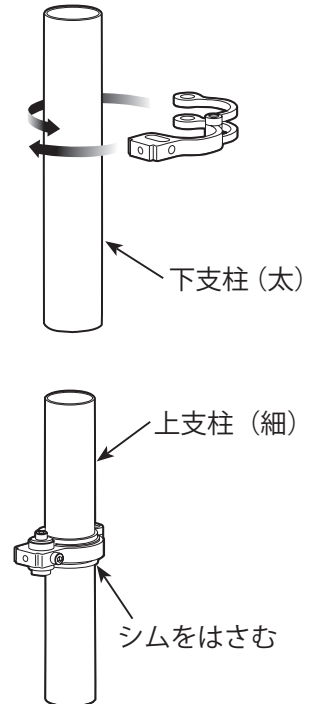
クランプの取り付け方

1

まずいったんクランプを分解してから、支柱に巻き付けます。このときクランプの 1 本アーム側が向かって右側に、2 本アーム側が向かって左側になるようにします。



直径 40mm の細い方の支柱に取り付ける場合は、樹脂製シムをスペーサーとしてクランプの内側に巻く必要があります。太い 45mm の方の支柱にはシムは不要です。シムの外周を見て、2 本の突起溝がある方が 1 本アーム側になるようにします。



2

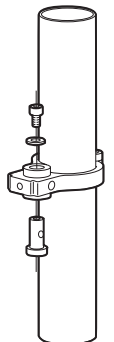
重ね合わせたクランプの下側から 3 つの孔すべてを通るようにピボットピンを通し、上から平ワッシャを通した短い方のボルトを軽くねじ込みます。



このボルトを上から通してしまうと、後で六角レンチでボルトを回せなくなってしまいます。



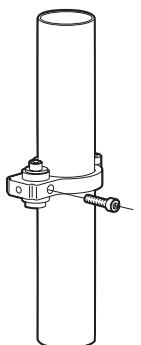
このボルトはまだ完全には締め込まず仮締めのままにします。次の作業の後で締め込みます。



3

ピボットピンを回転させ、ピンの側面にあるネジ孔をクランプ右側の孔と合わせます。その状態で長い方のボルトをピボットピンにねじ込みます。

クランプを完全固定するには、まず最初に長い方のボルトを、続いて短い方のボルトの順で締め込みます。



お問い合わせ先

<販売元> **株式会社 深谷産業**
〒462-0062 愛知県名古屋市中区新沼町 150
Phone (052) 909-6201 / Fax (052) 909-6212
www.fukaya-sangyo.co.jp

<製造元> **株式会社 箕浦**
〒503-2305 岐阜県安八郡神戸町神戸 1197-1
Phone (0584) 27-3131 / Fax (0584) 27-7505
minoura@minoura.jp (営業)
infodesk@minoura.jp (カスタマーサービス)
www.minoura.jp